

西三河版



花まつり踊り子
石川 隆雄

咲け 友好の白バラ

広島・福山市



「ローズマインド」
さんと後藤さん

国内外の民俗仮面見て 豊川 岡崎の藤谷さん展示



豊田高専名誉教授の藤谷幸弘さん(左)が岡崎市で国内外で収集した民俗仮面の展示が十九日、豊川市の一宮南部小学校で始まり、藤谷さんが児童らに仮面の魅力を伝えた。二十一日まで。

藤谷さんは、四十年ほど前に日本の鬼の面を買い求めたのがきっかけで海外でも収集するようになった。建築計画の研究で訪れた海外の骨董市などを見て

市計画には、家康が生まれた岡崎城の発掘調査をはじめ歴史的資産の保全に向けた取り組みが並ぶ。県の無形民俗文化財に指定される薄山寺鬼まつりの調査支援や、郷土食である八丁味噌を製造した蔵が軒を運べる景観の整備が重点項目に位

岡崎市の計画

歴史的風致維持国の補助対象に
徳川家康ゆかりの歴史的な文化遺産を後世に伝えるため、岡崎市が策定した「歴史的風致維持向上計画」が十九日、国の認定を受けた。認定は歴史まちづくり

回り、今では百九十枚ほどになった。

一宮南部小では、ネパールやインドネシア、アフリカ地域、日本などの仮面約五十枚が展示された。

初日は藤谷さんが仮面を手解説。児童は「表情が怖いね」「宇宙人みたい」と話しながら鑑賞した。藤谷さんは「子どもたちに想像力を養ってもらえたら」と話した。

(吉田幸雄)